

積み木による子どもの遊び環境の創造に関わる 指導者の育成についての実践的研究

建築都市工学部
住居・インテリア学科
准教授

諫見 泰彦



研究シーズの紹介

実践した「積み木であかりのワークショップ～童話を題材とした読書感想光～」は、光源にLED、反射材・遮蔽材に積み木を使い、「照明の良否は光源・反射材・遮蔽材のバランスによる」との知見を幼児・児童が学ぶ、アート・サイエンスコミュニケーション活動です。絵のない題材童話「あかりのあかり」から、幼児・児童が「読書感想光」として表現し「絵本」として完成させます。

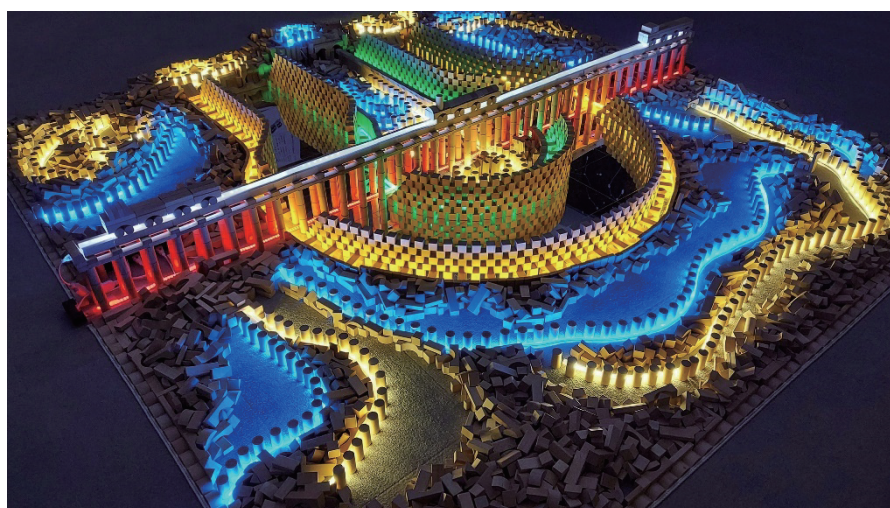
成果は茨城・静岡・石川・山口・福岡・佐賀各県の学校・美術館等で活用され、評価を得ました。

- ・日本建築家協会ゴールデンキューブ賞 受賞
- ・奥能登国際芸術祭 作品採択・出展
- ・さいたま国際芸術祭 作品採択・出展
- ・無人駅の芸術祭／大井川 作品採択・出展
- ・福岡アジア美術館 国際公募展 作品採択・出展
- ・国立新美術館 国際公募展 作品採択・出展予定



積み木であかりの
造形教育実践技術

- アート・サイエンスコミュニケーション活動の指導者を育成できます。
- ワークショップの実践からあかりの良否を幼児・児童が学習できます。
- 作品制作・出展活動による地域づくり・地域おこしを活性化できます。



期待される活用シーン

- 子ども教育を学ぶ学生を対象にアート・サイエンスコミュニケーション活動の指導者を育成したい。



指導者を育成します。右は九州産業大学子ども教育学科での実践。日本産業技術教育学会長賞受賞。



- 幼児・児童のアート・サイエンスコミュニケーション活動としてのワークショップを実践したい。



ワークショップを計画し実践します。右は長門おもちゃ美術館での実践。日本建築学会優秀賞受賞。



その他の研究テーマ

- ・アート・サイエンスコミュニケーションによる地域貢献実践（文化庁事業）
- ・駅舎と地域の計画と設計に関する教育実践（JR九州との共同教育実践研究）
- ・解体から学ぶ住居・インテリア学士力育成（ハウスメイトとの共同教育実践研究）